

RDFボイラープラントの再稼働について

- ・ 12月23日にダイオキシン類の再測定を実施しました。
- ・ 1月14日付で測定会社よりダイオキシン類再測定の結果報告書を受領し、その数値は0.016ng-TEQ/m³となっており、札幌市との協定による基準値0.1ng-TEQ/m³を下回っております。
- ・ また、12月23日の再測定時の試運転以降、RDFボイラーを停止して原因となった箇所の点検を行い排ガスの漏れが無い事を確認しています。
これによって、RDFボイラーが正常な運転ができることを確認しております。
- ・ ついては、1月16日にRDFボイラーを再稼働いたしました。
- ・ 再稼働後、測定の頻度を当面は年4回に増やし、自主点検も強化いたします。なお、測定点検結果は都度、ホームページにて報告いたします。
- ・ 次回の測定は2月10日に実施予定となっております。

以 上